

<2023年8月4日発表>

国際物流事業 関東地区新拠点 「にしてつ関東ロジスティクスセンター」開設

- 西日本鉄道(株)では、国際物流事業本部の関東物流拠点拡大のため、千葉県習志野市に「にしてつ関東ロジスティクスセンター」を開設いたします。
- にしてつ関東ロジスティクスセンターは、東関東自動車道 湾岸千葉 IC から車で約 7 分の場所に位置し、関東域内の集配送にも便利なほか、羽田空港・成田空港・横浜港・東京港から 40 km圏内と、航空・海上輸送サービスの提供に適した立地にあります。当センターの延床面積は約 20,000 m²で、当社国内物流拠点におけるフラッグシップと位置づけております。
- 当センターは、半導体などの精密機器の保管や冷蔵倉庫による対応、顧客に代わって各作業を行うフルフィルメントセンター(※)としての提供など、多様で付加価値の高いサービスを提供します。さらに、当社グループの西鉄物流(株)(千葉県市川市 代表取締役社長:田川祥弘)と協働し、関東エリアの集配送における、将来のトラック配送網の拠点化を目指します。グループ連携により、航空・海運・ロジスティクス・国内輸送が一气通貫した、きめ細かなサービスを提供いたします。
- 「物流の 2024 年問題」への対応を図るため、集配トラックの適正な運行管理を行うほか、DX の推進として、AI を活用した保管ロケーション管理、無人搬送ロボットを活用します。また、ESG の取り組みとして、太陽光パネルの設置によるクリーンエネルギーの活用、環境に優しいリチウムイオンバッテリー搭載のフォークリフトの運用拡大などを進めてまいります。そのほか、従業員のウェルビーイングな職場環境の創出に向け、リフレッシュスペースや女性用パウダーコーナーなどを整備いたします。
- 当センターは 2024 年 1 月の開設を予定しており、開設により物流拠点の拡充、域内物流ネットワークの強化を図ることで、「にしてつグループまち夢ビジョン 2035」で掲げる“サステナブルでお客さまに寄り添う「BtoB 物流」”の実現を目指してまいります。

※フルフィルメントセンター…顧客の商品をお預かりし、流通加工等入庫以降の各作業を代行すること



にしてつ関東ロジスティクスセンター 完成イメージ

■ 位置図(広域 高速路線図)



【参考：日本国内における貨物取り扱い割合】 ※e-Stat(政府統計関係のポータル)より
〔航空貨物〕羽田空港・成田空港：輸出 74.8% / 輸入 75.5%
〔海運貨物〕東京港・横浜港：輸出 37.5% / 輸入 39.5%

■ 「にしてつ関東ロジスティクスセンター」の概要

- 【所在地】 千葉県習志野市茜浜二丁目4番
- 【開設日】 2024年1月予定
- 【敷地面積】 8,844 m²
- 【延床面積】 19,322 m²
 - 倉庫 16,908 m²(5114.67坪)
 - 事務所等 1,188 m²(359.37坪)
- 【建物構造】 一部鉄筋コンクリート造4階建 耐震設計、各階天井高5.5m
床荷重 1.5t/m² (倉庫)
- 【倉庫仕様】 4階 空調倉庫
3階 空調倉庫
2階 空調倉庫
1階 常温倉庫、冷蔵倉庫(定温定湿)

(参考) 国際物流事業の概要

- 【本部所在地】 東京都中央区日本橋三丁目 2-5 毎日日本橋ビル
- 【事業内容】 利用運送事業、航空運送代理店業、通関業
- 【拠点数】 29 カ国・地域 121 都市(2023年8月現在)
- 【沿革】
- 1948年 航空代理店業開始
 - 1957年 日本で初めて国際貨物の混載事業を開始
 - 1971年 初の海外現地法人を米国に設立
 - 1983年 「単独混載事業者(フォワーダー)」に進出
WACO(WORLD AIR CARGO ORGANIZATION)グループに加盟
 - 1985年 海上貨物取扱い開始
 - 2009年 AEO制度「特定保税承認者」の取得
 - 2011年 AEO制度「認定通関業者」の取得
 - 2014年 AEO制度「特定保税運送者」の取得
 - 2018年 EN9120(航空宇宙産業品質マネジメント)取得

(参考) 国内ロジスティクスセンターの概要



本件に関するお問い合わせは、西鉄お客さまセンター(Tel:050-3616-2150)まで